

理解して定着させる効率的な学習方法

学習の本質を理解する

前回やったこと

- フロントエンジニアはコミュニケーションが最も大事
- フロントエンドの歴史は JavaScript の激動の歴史
- 「変わっていくこと」じゃなくて「変わらないこと」を学ぼう
- 自分のキャリアプランは自己分析からはじめよう

今日やること -> 学習方法

わたしの場合

まず、目標を立てて細分化する

細分化したタスクをスケジューリングする

これだけです👉

< どんなかんじ？

けいやまさんとやり取りしたので Slack を見てみましょう！（本人の許可は取っております！）

具体的な学習リソース

何よりも「書籍」からの情報を優先しよう

- 体系的に効率よくまとめられている
- 何重にもチェックされており信頼性が高い
- 事前に内容を把握できる
- 金額がとても安い

書籍は最も効率よく、安価に情報が得られる最高の手段📖

- 動画サイト -> 手を付けるジャンルの世界観が意味不明でどうしようもないとき役立つかも（体感として、得られる知識量は書籍と比較して時間あたり100分の1程度だと感じる）
- ネット記事 -> 書籍購入のための事前調査にしか使わない。常に死ぬほど疑いながら読む。
- 公式サイト -> 書籍購入のための事前調査にしか使わない。理解できていない概念を丸暗記しようとしなない。書籍で理解し、公式サイトで武器を増やそう

書籍を読む前に準備をしっかりとしていれば、素人が書いた未編集のネット記事をかき集めてファクトチェックするより効率がかなりいい。

「ゴミが入ればゴミが出る」

読む前に

- 読む目的は読むことではなく「わかる」こと
- わかるというのは、書かれている概念を「使える」こと
- 本の冊数を消化することが目的なのではなく、本からどれだけ自分が「使える」知識を得られるか

読んでみよう

- 事前調査を行う（その技術について易しく一般的にまとめられた記事や動画、podcast など。歴史やルーツなども調べておく）
- 棚見を行う
- 書籍を買う
- 読書ノートをつけながら通読を行う
- 読書ノートを参考にしながら精読する
- アウトプットする（記事にする・人に話すなど）

読書は技術！ いろんなやり方で理解を深める

速読: 高速で行う情報の取捨選択

味読: 小説とかの世界観をより味わい深くする技術

精読: 多くの場合、このやり方を取る

批判読み: 内容を疑ってかかる読み方。（ネットの記事や SNS は基本これで読んでいます）

同化読み: 著者を信じて書籍の方針通りに読み進める方法

閉じた本: 基本的に著者の結論や思想が書かれている本。なにも考えなくても読める

開かれた本: 著者の結論や思想を極力避けて書かれている本。読者が自分で結論を出すことを促す

慣れないうちは「閉じた本」を「同化読み」で「精読」しよう

精読 -> 読書ノートがおすすめ

準備

1. 目次を読んで、章を区切る
2. 小見出しを各章の中に書いておく

実践

1. 後から書き込むことが多いので、極力余白をあける
2. 雑に取る
3. 疑問に感じたことを何でもメモ
4. 何度も出てくる単語をメモ
5. 重要だと感じた文を書きうつす
6. 理由と結論を矢印でつなぐ
7. 上記のページ番号をメモしておく

読書ノート例（Good Notes5 を使っています）

アウトプットを「2回」する

1回目 読書ノートをただのメモに使わない

読書ノートでただ書き写す・文字面を追うのはNG。

咀嚼して、自分の言葉で言い換える。その理解の整合性を常にチェックする

2回目 他人に見せられる形まで、表現を整形する

- 人に話す
- 記事を書く
- 勉強会で共有する

大抵の分野は1冊を深く理解すれば、業務で使えるレベルに至れる

無計画に Web の記事をちょこちょこ読んだりして「わかったつもり」になるともったいないし、危険だと思います

**書籍を 1 - 3 冊読めば（10時間-30時間程度学べば） aams
も sonybank もコードを読めばとりあえず何をやってるか
は理解できるはず（ひとによって変動はします）**

**きちんと選書して、しっかり準備した「読書」に勝る勉強法
はなし（個人的な感想）**

「わかったつもり」に挑む（そして哲学へ）

スキーマ・文脈を理解する

スキーマ？

- 自分の知識の構造。頭の中の My 図書館

文脈

- 文と文の論理的な「関係」
- 語と語の意味的な「関連」

文脈を駆使して「わかったつもり」に立ち向かう

- 文脈がわからないと文章がわからない
- 文脈がスキーマに作用し、文脈からの情報と共同して働く
- 文脈がそれぞれの部分の記述から意味を引き出す
- 文脈が異なれば、同じ文章でも違う意味が引き出される
- 文脈に引き出されたそれぞれの意味の間で関連ができることで文がわかる
- 文脈の共通した背景・状況を知ることにより深く理解できる

スキーマを強化してより深い理解への助力としよう

- スキーマの補充（知らないワードについてその意味や背景を知ること）
- スキーマをうまく「活性化」させ、部分間に関連付けを行うこと

わかったつもりは永遠になくならない

定着のために定期的に反復の必要性を判断する仕組みを持つ

計画 -> タスクの細分化 -> スケジューリング -> 実行 -> アウトプット -> 計画の見直し

ちょっとお仕事に似ていますね！

ひとによってやり方は違います

おれたちのおおふさの場合

効率のいいフレームワークをガンガン取り入れていきましょ～

でも... わたしは知っています...

多分今日やったことを1人もやってくれない

仕事・子育て・友人関係・趣味・妻/夫との時間

時間が足りない...

じかんは、つくれる

次回: 時間を主軸においた業務効率化 🎉

仕事のやり方で自分の時間は何倍にも増やせる！お金よりも大事な「時間」の管理

ご静聴ありがとうございました！